直売所だより

きみまち杉ちょくん

イベント

10月上旬に開催される『きみ恋♥軽トラ市』に参加
9時～11時30分
（北都銀行二ツ井支店隣）

商店街の活性化を目指して二ツ井商工会が開催している『きみ恋♥軽トラ市』。軽トラックで農家自慢の野菜や果物を手工芸品やリサイクル品なども販売しています。もちろん、きみまち杉ちょくんも出店します。

▲農家の自慢の品々を軽トラックで販売♪

おすすめ商品

○めぐみ園のクッキー……120円/１袋
○梨……200円/袋（小）
……500円/袋（大）
○小ナス…… 200円/500ｇ
○きゅうり……150円/１袋

めぐみ園のクッキー

梨

☆店舗紹介（道の駅「ふたつい」）
二ツ井地区特産の山ウド（12月～４月）漬物用の小ナス（６月～10月）をはじめ、その他の野菜、山菜、椎茸、加工品など、会員が真心込めて作った新鮮野菜や加工品が店頭にずらりと並びます。

お問い合わせ先：0185-73-6610

家庭菜園

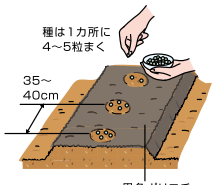
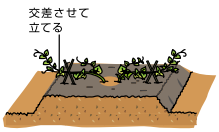
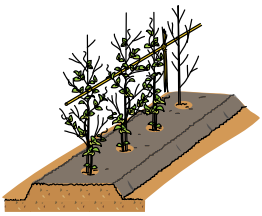
取りたての味が魅力のサヤエンドウ

栽培のポイントは、(1)連作畑を避けること、(2)まきどきを誤らないこと、(3)冬に株が風に振り回されないよう風よけを設けること、(4)伸びたつるがよく絡むよう支柱を立てることです。

エンドウは野菜の中で最も連作を嫌う性質があります。４～５年は作ったことのない畑で栽培しましょう。

サヤエンドウは茎葉がか弱く、越冬中に株が風に振り回されると、茎が折れ、枯死したりしやすいので、草丈が10～15cm以上に伸びたら、短い竹を交差させて立て、株を固定したり、畝に沿って稲わらを半折れにして下方を土に埋め、簡単な風よけを作ったり、べた掛け資材で覆ったりして、寒風から守りましょう。

厳寒期を過ぎ、草丈が20cmぐらいになるころには、小さな巻きひげも出るので、早めに支柱を立て、これに絡み付くようつるを誘引してやりましょう。支柱の材料としては、細枝のたくさん付いたササや、子枝の付いた木の枝などが最良ですが、入手できない場合は、木ぐいに横竹を渡し、所々に稲わらを小束にしてつるす方法、果菜用の支柱竹を交差させて立て、横に２～３段ほどプラスチックひもを渡したり、キュウリの誘引ネット（網目15cmぐらい）を取り付けたりする方法など、いろいろ工夫してみましょう。

前作に野菜を作った畑なら肥料分は多くは必要ありませんが、不足気味なら越冬前に、畝に沿って軽く溝を作り、１株当たり化成肥料を大さじ１杯ぐらい、本支柱を立てた後で、畝の反対側に同量の肥料を施し、土を返して畝を形作ります。

畑に直播した場合、発芽時に鳥害を受けることがあります。発芽して緑葉が伸び始めるまで、べた掛け資材で覆ったり、苗を育てて植え出したりして回避しましょう。ハモグリバエの幼虫の被害（絵を描いたような食害）を受けることもあります。早めに発見し農薬を散布して防ぎましょう。